

「市先端研究産業支援センターでの研究活動」

- ・慶應先端研、理化学研究所、国立がん研究センター、鶴岡高専、山大農学部、ベンチャー企業各社を含む18の研究機関やベンチャー企業等が入居



(市先端研究産業支援センター)

「高等教育・研究機関の集積による効果」

- ・慶應先端研の研究成果を核とした新たな事業展開
- ・バイオベンチャー企業等が8社誕生し、着実に事業展開



- ・国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点におけるがんの新たな治療法・治療薬の研究
- ・国立がん研究センター東病院と鶴岡市立荘内病院との医療連携による地域医療の高度化

「サイエンスパーク
ブランド化に向けた取組」

- ・令和3年4月に一般社団法人鶴岡サイエンスパークを設立
- ・市は一般社団法人鶴岡サイエンスパークと連携し、情報発信や知名度の向上の取組による人・投資の集積



「若い人材の育成」

- ・未来を担う研究者の育成を目指した“特別研究生制度”
- ・全国の高校生がバイオサイエンスに関する研究成果を発表する“高校生バイオサミットin鶴岡”



(特別研究生入学式)

「予防医学の推進」

- ・慶應先端研や慶應大学医学部、鶴岡地区医師会や荘内病院が協同でメタボローム解析技術を用いた「鶴岡みらい健康調査」の推進
- ・市民約1万1千人のデータを用いて研究を推進
- ・慶應先端研やベンチャー企業が開発を進める次世代の健康診断技術

血液でうつ病検査

HMT(株)

だ液でがん検診

(株) サリバテック

便で腸内環境検査

(株) メタジェン

1 ベンチャー企業などの活動の受け皿づくり

『鶴岡市先端研究産業支援センター新棟（F棟）の整備』

(1) 事業内容

鶴岡市先端研究産業支援センター（レンタルラボ62室）が満室状況のため、新たにレンタルラボ20室からなる新棟（F棟）を整備。

(2) 施設概要

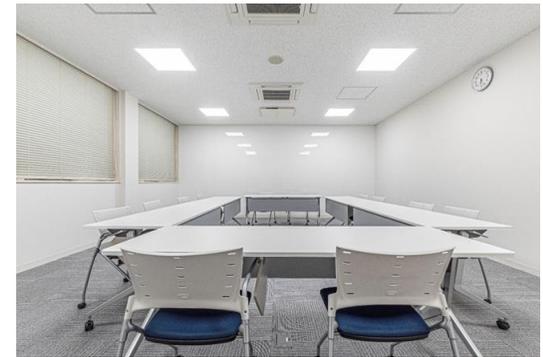
レンタルラボ20室、会議室、コミュニケーションラウンジなど

(3) 供用開始

令和4年11月1日



(コミュニケーションラウンジ)



(会議室)

(4) 総事業費

11.5億円

(内閣府の地方創生拠点整備交付金約5億円を活用)



2 「学び」を通じた若者の交流人口の拡大

『高校生や大学生などを対象にしたイベント支援』

(1) 事業内容

慶應先端生命科学研究所が中心となって実施するイベントを支援し、交流人口を拡大する

- ①山形文化論(5/13、5/27、6/3、6/24)
- ②應義塾大学教養研究センター「庄内セミナー」(8/29~9/1)
- ③高校生バイオサミットin鶴岡(8/21~8/23)
- ④生物学オリンピック

(2) 令和5年度予算

850千円(高校生バイオサミット市負担金750千円を含む)



(山形文化論：龍澤山善寶寺本堂)

(山形文化論：羽黒山石段)

(第13回 高校生バイオサミットin鶴岡)